

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

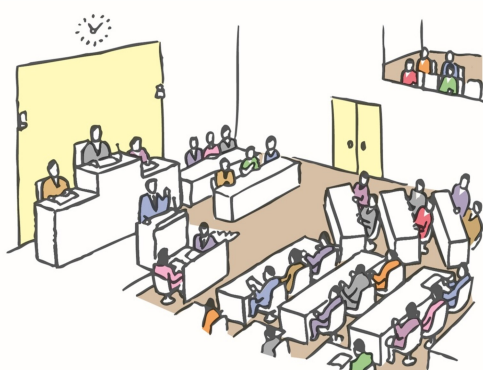
誰も取り残されない松江へ 2025年度予算案審議 松江市議会2月定例会始まる

2月25日、松江市議会2月定例会が開会しました。今議会には1129億9000万円の2025年度一般会計当初予算、国民健康保険特別会計予算を含む8特別会計、水道事業会計を含む5事業会計予算が提案されました。また24年度補正予算37億1390万円が提案され、今年度一般会計は総計1179億6659万円となります。その他、条例改正など、合計68の議案が上程されました。

25年度当初予算は

25年度当初予算の主なものとして◇新庁舎建設に47億7千万円◇道路河川整備32億7千万円◇中尾地区企業団地整備13億7660万円◇子ども医療費18歳まで助成拡充9億9389万円◇電子市

役所推進事業費7億5千万余
◇市民生活支援・水道料金の減免等5億2千万円◇中海スポーツパーク整備5億5千万円余◇脱炭素先行地域推進事業5億4千万円余◇公共施設の脱炭素化(LED照明やEV車導入)3億7千万円余、そのほかコミバス運行等3億8千万円余などをあげています。



学校給食費の給食用精米高騰分の支援として2054万円を計上していますが、これまでの物価高騰分支援が国の交付金が終了するため、実質一人当たり年間約4千円の値上げとなる計算です。

24年度補正予算の主なものは、▽揖屋小学校長寿命化改修1億3千万円余、▽小中学校の空調設備新設、更新(雑賀小、朝酌小、来待小、八雲小、宍道小、本庄中)8434万円、トイレ改修(母衣小・城北小、雑賀小、古志原小、大庭小、宍道小、四中)1億5千万円余▽中学校体育館の空調設備整備(玉湯学園)8800万円、▽松江魚市場整備支援3億円などです。

主な条例改正等の議案は○市長などの特別職、議員の報酬改定、○松江市立病院個室

『原発ゼロの声を松江から』 松江市議予定候補 佐野 みどり



市民と
共に歩んで

昨年12月に島根原発2号機が再稼働しました。原発から5Km以内(PAZ)に住む私も、原発事故の危険と隣り合わせで暮らしている...という不安を感じています。

2024年に共産党が行った市民アンケートでは、避難計画に実効性がある...52.3%、実効性がない...52.3%でした。
『地震があるたびに不安。毎日ひびひびとして暮らしてる』『避難のバスと運転手足りるの?』『屋内退避というけど、そう簡単なものではないと思う』『風向きによっては知夫里島・西の島は直撃されるのでは...と危惧します』高齢者

からは『私はもう逃げれんから...あんな達達して』介護・医療現場では『通常の業務だけでなく手一杯なのに、対応できるのだろうか...』などの避難に関する不安の声が多く寄せられています。
福島事故を忘れたかのような(原発の最大限活用)への政府方針転換は許されません。
原発のない安心・安全の松江を!子供や孫たちが安心して帰ってこれる松江を!松江から原発ゼロの声を皆さんと共に広げていくことを決意しています。

ぜひ、おでかけください

午後3時30分~くにびきメッセ
国際会議場
(松江市学園南1丁目2-1)



3.16日 日本共産党演説会

わたしたちもお話します



舟木 健治
市議会議員



たちばなふみ
市議会議員

◆共産党市議団一般質問
1. 舟木けんじ市議
2. 福祉避難所の拡充
3. 訪問介護事業所への支援
策について

◆たちばなふみ市議
1. ジェンダー平等
2. 学校トイレの洋式化
3. 校則や学校のきまり、子どもの権利尊重を
4. 境港の軍事利用
許されない
5. 原発避難計画の実効性
で、3月5日に行いました。
詳細は次号からお伝えします。